

1 道徳における教育課程実施上の課題と指導上の留意事項

(1) いじめ問題等への対応について

① 教育再生実行会議第一次提言 (25.2.26)

- ・いじめ問題の本質的な解決に向け、心と体の調和のとれた人間の育成に取り組む観点から道徳教育の抜本的な充実を図るとともに、新たな枠組みにより教科化することが提言される。

それを受け→・道徳教育の具体的な成果や課題の検証

- ・道徳教育の充実(「心のノート」の全面改訂、教員の指導力向上など)
- ・成果を踏まえての道徳の教科化の具体的な在り方の検討

② 道徳の新たな枠組みによる教科化への検討 →指導内容を充実させるため

- ・効果的な指導方法を明確にして、すべての教員が習得することを目指す。

(学校や教師個人によって道徳を行わない状況があってはならないという反省から)

- ・現在の枠組みは 5領域・・・(その中に教科が入っている)

- ・各教科(国語, 算数, …9教科)
- ・道徳(道徳の時間)
- ・外国語活動(外国語活動)
- ・総合的な学習の時間(総合的な学習の時間)
- ・特別活動(学級活動, 児童会活動, クラブ活動, 学校行事)

- ・現在の枠組みの中での教科化であれば、各教科(9教科)と同様の位置に「道徳」が位置づけられる。

→課題として、教科書は?、評定は?、教員免許状は? 等の問題が出てくる。

- ・しかし、検討されるのは新たな枠組みによる教科化である。

現在の時点での方向性は未定である。

(2) 教育振興基本計画について

基本的方向性(4点)に基づく方策と施策

方向性の一点として「社会を生き抜く力の養成」、方策として「豊かな心の育成」を明示

①基本的な考え方

- ・子どもたちの豊かな情操や規範意識、自他の生命の尊重、自尊感情、他者への思いやり、人間関係を築く力、社会性、公共の精神、主体的に判断し、適切に行動する力などを育むため、道徳教育や人権教育を推進するとともに、体験活動や読書活動、生徒指導、青少年を取り巻く有害情報対策等の充実を図る。

②道徳教育の推進

- ・「道徳の時間」を要として学校の教育活動全体を通じた道徳教育の質の向上を図る。
- ・道徳性を養うための「心のノート」を充実させる。
- ・道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実や教員の指導力の向上に取り組む。
- ・魅力的な教材の開発や活用を行う。

※道徳の特性を踏まえて新たな枠組みにより教科化する具体的検討を行う。

2 道徳教育実施状況調査(24.5月~6月実施・・・23年度の実施状況)について

(1) 道徳の時間の年間指導計画の作成

小学校 道徳

①年間指導計画とは

- ・全体計画に基づき、計画的、発展的に行われるように組織された年間の指導計画

②年間指導計画の内容（％：各校で年間指導計画に盛り込んで記載している割合）

- ・学年の基本方針（78.1％）
- ・指導時期（96.9％）
- ・主題名（93.3％）
- ・ねらい（82.5％）
- ・資料名（92.7％）
- ・主題構成の理由（26.8％）ねらいに対して資料を選定した理由を示す。
- ・展開の大要及び指導の方法（45.7％）
資料をどう活用し、どのような手順で学習を進めるかを簡潔に示す。
- ・他の教育活動等における道徳教育との関連（73.2％）
関連する教育活動や体験活動、学級経営の取組などを示す。

③今後の作成方法について

- ・1年間かけて、毎時間の授業のメモを記録として取る。
- ・年度末にまとめる → 実際の指導に基づいた計画が作成される → 活用できる計画

（2）全体計画別葉の作成

①全体計画とは

- ・道徳教育の目標を達成するための方策を総合的に示した教育計画

②道徳教育は学校の教育活動全体を通じて行う

- ・つまり、道徳の時間だけではなく各教科等における道徳教育にかかわる指導内容や時期を整理して示すことで、具体的に活用できる計画となる必要がある。
→ 学校としての「全体計画別葉」の作成が必要である。

3 「心のノート」の全面改訂について

心のノート・・・児童生徒が身に付ける道徳の内容を分かりやすく表し、道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるものとして作成された教材

（1）「心のノート」の多様な場面での活用を

- ・学校や家庭の日常生活で活用する。
- ・各教科、総合的な学習の時間、特別活動の時間で活用する。
- ・学校・家庭・地域社会の連携の場で活用する。

（2）「心のノート」の活用を広げるために

- ・『「心のノート」を生かした道徳教育の展開～心のノート活用事例集～』を参照する。
- ・学校としての使い方の方針を決めて全教職員で共通理解する。
- ・道徳教育計画へ位置付ける。
- ・道徳教育推進教師の役割として位置付ける。
- ・子どもの思いや子ども一人一人の事情等へ配慮する。
- ・一人一人が違う個性的なノートになるよう援助する。
- ・校内研修などの資料としても活用する。

（3）現在の状況

- ・今年度の「心のノート」は7～8月に各学校に送付予定である。
- ・来年度4月より「心のノート」が改訂され、4月より配布される。
- ・大まかな内容としては、現在の構成に、読み物資料や名言、格言が加わり、書き込み欄（本人、家族、教員が記入）が充実する。
- ・今後の大まかな流れ（予定）

「心のノート」改訂→「心のノートの活用のために」改訂→「活用事例集」改訂